

花ごよみ

7・8月に見ごろを迎える植物のある代表的な都立公園をご紹介します。



コウホネ



オニバス

- | | | |
|----|-----------------|--------------------------|
| 7月 | コウホネ | 石神井公園、和田堀公園、神代植物公園、小山田緑地 |
| | ハンゲショウ | 野川公園、向島百花園、小石川後楽園、水元公園 |
| | アメリカデイゴ | 葛西臨海公園、木場公園、砧公園、代々木公園 |
| 8月 | オニバス | 水元公園 |
| | ツリガネニンジン | 小山内裏公園、殿ヶ谷戸庭園、平山城址公園 |
| | シマサルスベリ | 桜ヶ丘公園、砧公園、小金井公園、林試の森公園 |

● 都立公園イベント情報 ●

○向島百花園「大輪朝顔展」7月29日(日)～8月5日(日)
 「大輪朝顔の展示」期間中毎日8時～12時
 「大輪朝顔の育て方教室」7月29日(日)、8月4日(土)
 10時～11時 ※先着順
 墨田区東向島3-18-3 TEL: 03-3611-8705

○「神代植物公園サクラソウ品種コレクション」が日本植物園協会
 ナショナルコレクションの第1回認定を受けました。
 これを記念して、特別イベントを開催いたします。

< パネル展示 >

日 時: 6月26日(火)～7月16日(月・祝)

場 所: 神代植物公園内 植物会館1Fロビー

内 容: パネル展「神代植物公園サクラソウ品種コレクション」

・サクラソウ紹介パネル展示(10枚程度を予定)

・動画放映(サクラソウ開花時期の状況)

・標本展示他

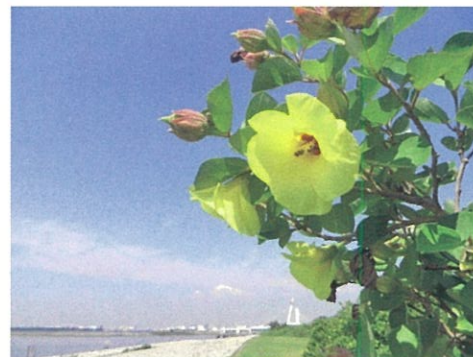
調布市深大寺元町5-31-10 TEL: 042-483-2300

(詳細は各公園の連絡先まで)

花の見ごろ情報

2018
7・8

● 今月の花 ●



ハマボウ



オオハマボウ



ハイビスカス赤



ハイビスカス黄



ムクゲ

◇花の見ごろ情報は、年6回(2ヶ月ごと)の発行を予定しています。

◇「花の見ごろ情報」のホームページ

アドレス <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jigyoku/park/hananomigoro/index.html>

東京都建設局公園緑地部 03-5320-5372, 5365



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

印刷物規格表第1類

登録番号(30)25

今月の花

ハマボウ (浜朴) アオイ科 フヨウ属 *Hibiscus hamabo*

ハマボウは、高さ1m～5m程度の落葉樹木で、分布は太平洋岸では千葉県より西で日本海側では、島根県隠岐諸島より南に分布し、耐塩性が強く湾内や河口の高潮線付近の塩湿地（普段は潮が引いているが満潮時は海水がかかる場所）に生育します。葉は緑色で丸く艶があり、縁は細かい鋸状となっています。最近、海岸保全工事に伴い生息域が減少しており、数を減らしている植物です。

ムクゲは高さ3m～4m程の落葉小高木。公園や街路樹に植えられており、夏に花が咲く身近な樹木です。生薬の木槿皮や木槿花はムクゲを利用します。

ムクゲ (木槿)
アオイ科 フヨウ属
Hibiscus syriacus

オオハマボウ (大浜朴) アオイ科 フヨウ属 *Hibiscus tiliaceus*

オオハマボウは、高さ4m～12m程の常緑の小高木。日本では、屋久島、種子島、琉球列島及び小笠原諸島に分布しています。耐塩性が強く高木となるため、離島では防潮林、防砂林、防風林として利用されます。また、樹皮に繊維が多く含まれるため、これを紡ぎロープ、漁網とし、さらさら反物に加工し利用されました。

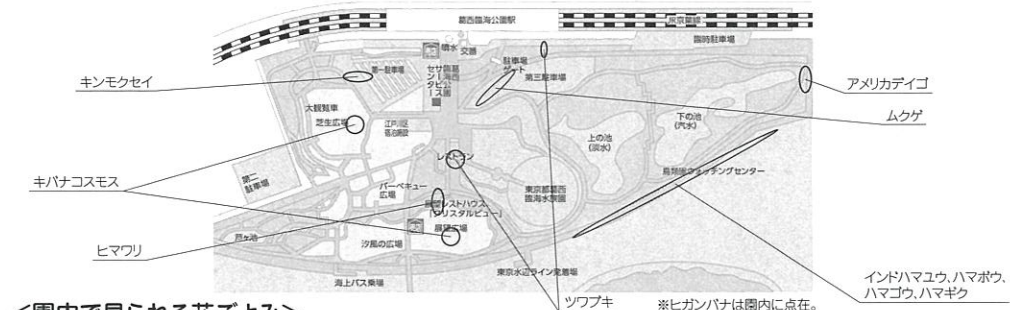
ハイビスカスはアオイ科フヨウ属の属名の総称であり、世界の熱帯地方に分布する1m～3mの常緑小高木。鮮やかな赤、ピンク、オレンジの花を咲かせ南国の花として親しまれています。日本では伊豆半島より以南太平洋側の比較的暖かい地域で栽培が可能です。東京都では伊豆大島から小笠原諸島まで広い範囲で植栽がされています。都道では八丈島沖湊八重根港線及び八丈都市計画道路に多く植栽されています。

ハイビスカス アオイ目 アオイ科 フヨウ属 *Hibiscus*

葛西臨海公園 江戸川区臨海町六丁目 葛西臨海公園サービスセンター TEL: 03-5696-1331

葛西臨海公園は、約80haのとても大きな公園です。昭和60年から葛西沖開発土地地区画整理事業の一環として整備が始まり、平成元年に一部38haがオープン、平成6年には鳥類園がオープンしました。野鳥の中には貴重な猛禽類、オオタカを始めミサゴ、ハヤブサ、チュウヒ、トビなどが飛来するため、野鳥観察も人気となっています。広い園内は、東京湾に面した公園という特色を生かし、潮風・強風・乾燥など、海辺の厳しい環境にも生育する植物が多く植栽されています。

今月号では夏に葛西臨海公園で見られる海辺の植物を紹介いたします。



<園内で見られる花ごよみ>

7～8月 インドハマユウ、ハマボウ、ハマゴウ、ムクゲ、ヒマワリ、アメリカデイゴ
9～11月 キバナコスモス、ヒガンバナ、ツツキ、キンモクセイ、ハマギク

大神山公園 小笠原村父島 大神山公園サービスセンター TEL: 04998-2-7170

大神山公園は、東京竹芝から南へ1,000km、亜熱帯の海洋性気候の小笠原諸島父島にあり、丘陵地の大神山地区と二見港に面した平坦地である大村中央地区に分かれています。大神山地区は、島の玄関である二見港の正面の大神山に位置します。山頂に設置されたメイン展望台、パノラマ展望台からの眺望は良く、父島の集落をはじめ、旭山、三日月山、兄島等を見渡すことができます。また、園内では小笠原固有の植物も観察できます。

大村中央地区は、大村海岸に面しておりピシターセンターやお祭り広場があります。

最後に、小笠原諸島は返還50周年を迎えます。ぜひこの機会に小笠原を訪れてみてはいかがでしょうか。

<園内で見られる花ごよみ>

7～8月 アサヒカズラ、プルメリア、ゲッキツ
9～10月 シマザクラ、ムニンアオガビ、シマモクセイ
通年 オオハマボウ、テリハハマボウ、ハイビスカス



神代植物公園

梅雨が明け、本格的な夏を迎えます。夏は花が少ないといわれることがありますが、ムクゲやサルズベリ、ハス等、夏らしい色鮮やかな花を楽しむことができます。今年の2,3月にハスの植替えを行いました。これによって根が伸びるスペースができましたので、今年のハスは昨年より花数が増えることが期待できそうです。夏の暑さが苦手な方は、大温室(ラン、ペゴニア室)で、のんびり植物鑑賞。真夏はクーラーがきいているので、オススメです。

◆調布市深大寺元町5-31-10 TEL042-483-2300

◆京王線つじヶ丘駅から深大寺行きバス、JR三鷹駅、吉祥寺駅から調布行きバス、「神代植物公園前」下車

<7月・8月の催しのお知らせ(◇:展示会, ◎:イベント)>

◇ペゴニア展 6月26日(火)~7月8日(日)

◇植物板画展 7月10日(火)~7月16日(月祝)

○講演会「江戸の園芸植物一運一」
7月15日(日)

○講演会「古典園芸植物「アサガオ」

—変化朝顔と幻の黄色い朝顔の再現—

8月26日(日)

※協賛団体等の都合により、変更になる場合があります。

夢の島熱帯植物館

暑い日が続くなか、意外に思われるかもしれませんが、窓を開放して風通しがよい大温室は緑が濃く、木陰はホッと出来るスポットです。今年も開催される夜間開館は、植物館の開館30周年を迎え新たな展示を行います。夜に咲く花を眺めたり、夜香の花の香りを楽しんだり等、暑さが和らぐ夜間ならではのひと時をお楽しみ下さい。

◆江東区夢の島2-1-2
TEL03-3522-0281

◆JR京葉線・りんかい線・地下鉄有楽町線新木場駅より徒歩15分、夢の島公園内

<7月・8月のイベントのお知らせ>

◆夢の島西アフリカフェスタ

6月26日(火)~7月16日(月・祝)

◆食虫植物と熱帯の生きもの展

7月18日(水)~9月2日(日)

◆夜間開館

20187月21日(土)、22日(日)、8月25日(土)、26日(日)

◆真夏の夜の夢の島 BAR

7月21日(土)、8月26日(日)

◆熱帯スコール体験

7月21日(土)~8月26日(日)の土日祝

◆大温室ガイドツアー

土・日・祝日 11:00~15:00(随時開催、14:00受付終了)
植物館の見どころをガイドボランティアが解説する館内ツアー
※参加費無料(入館料別途)